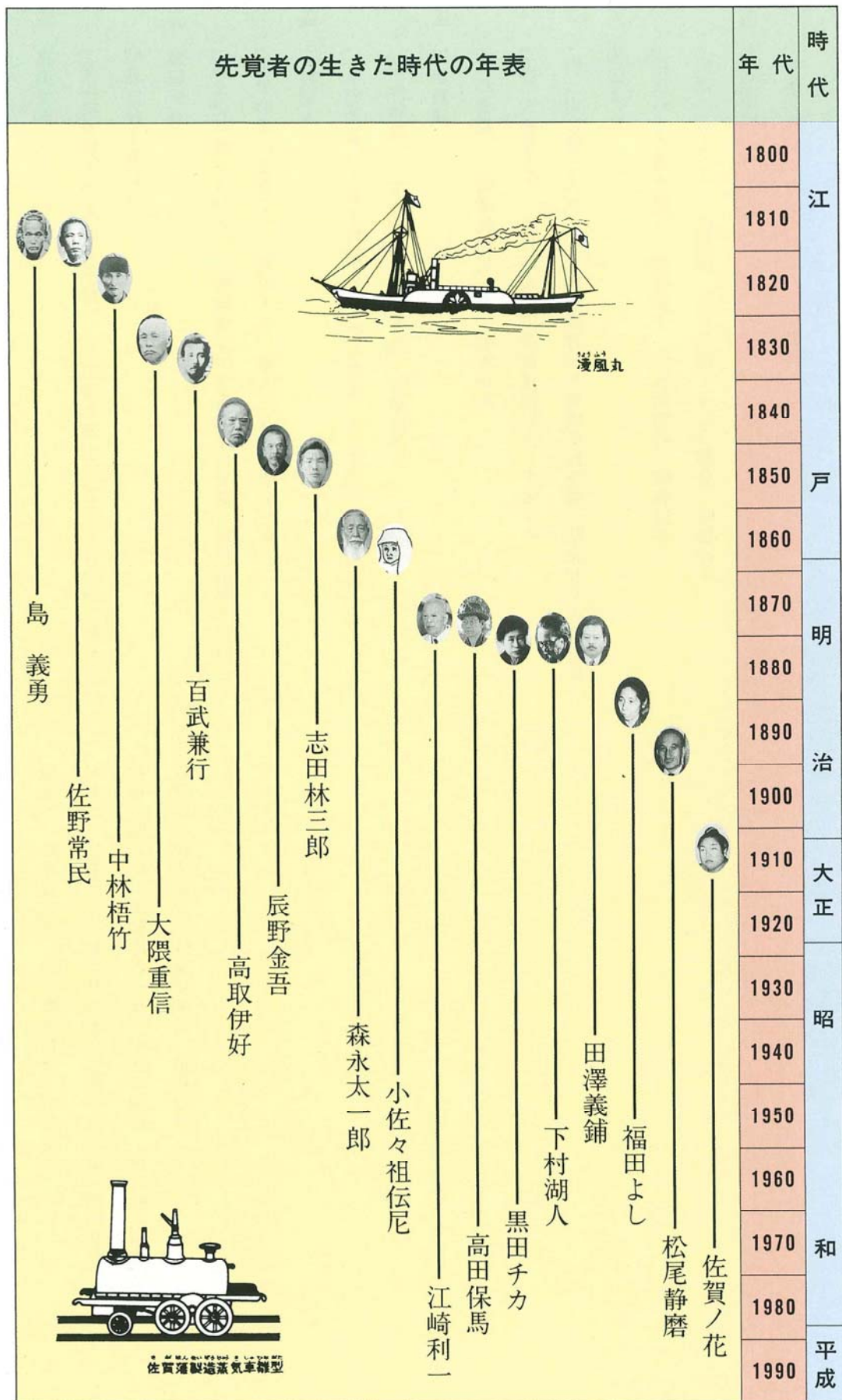


先覚者の生きた時代の年表と日本・郷土のできごと



時代	年代	郷土のできごと	日本のできごと	
江戸	1800	1808 フェートン号事件おこる	●ききんが起き、百姓一揆や打ちこわしが多くなる ●幕府の政治がさらにゆきづまっていく	
	1810	1817 唐津藩主水野忠邦、浜松にうつり、小笠原長昌が唐津藩主となる	1825 外国船打払令が出される	
	1820	1830 佐賀藩主鍋島直正、長崎巡視 オランダ船を見学する	1833 天保の大ききんがおこる (~39) 1837 大塩平八郎の乱がおこる	
	1830	1833 佐賀藩、財政立て直しのための7か年計画をつくる	1841 老中水野忠邦が天保の改革を始める (~43)	
	1840	1847 直正、伊東玄朴のすすめで西洋種痘法を採用する	1853 ベリーが浦賀に来る 1858 5か国と通商条約をむすぶ ●幕府への不満が高まり、幕府をたおす運動がもりあがる	
	戸	1850	1849 佐賀藩、鉄製鑄砲局を築地(現在の佐賀市立日新小学校付近) にたてる	1868 明治維新が始まる 江戸を東京とする
			1853 幕府、佐賀藩に大砲50門を注文する	1871 廃藩置県が行なわれる
			1855 佐賀藩、「精煉方」で蒸気船、蒸気機関車の模型をつくる	●このころ自由民権運動がおこる 1877 西南戦争がおこる
	明治	1860	1868 佐賀藩のアームストロング砲、上野戦争で活躍する	
		1870	1874 佐賀の乱がおこる	
1880		1889 佐賀市に市制がしかれる	1889 大日本帝国憲法が公布される 1890 第1回帝国議会在開かれる 1894 日清戦争がおこる (~95)	
1890		1891 鳥栖・佐賀間に鉄道が開通する 1895 武雄・佐賀間に鉄道が開通する		
大正	1900	1903 西唐津・佐賀間に鉄道が開通する 1904 佐賀市に電話が架設される	1901 八幡に製鉄所ができ、仕事を始める 1904 日露戦争がおこる (~05)	
	1910	1915 県内で自動車7台が使われるようになる	1910 韓国を併合する 1914 第一次世界大戦に加わる	
昭和	1920	1923 佐賀県水平社がつくられる	1920 国際連盟に加わる 1925 普通選挙制を定める ●このころから世界じゅうが不景気になる	
	1930	1933 県営有明干拓に着手する 1935 佐賀市で第1回防空演習が行われた	1931 満州事変がおこる ●このころから戦争への道を歩み始める 1937 日中戦争がおこる 1939 第二次世界大戦がおこる	
	1940	1945 佐賀や鳥栖などが空襲にあう	1941 太平洋戦争がおこる 1945 連合国にことうふくする (終戦)	
	1950	1954 鳥栖、伊万里、武雄、鹿島、多久の5市ができる (7市8郡18町35村)	1946 日本国憲法が公布される 1951 サンフランシスコで平和条約をむすぶ 日米安全保障条約をむすぶ	
	1960	1956 県内でテレビ受像が始まる 1963 県立図書館が完成する	1956 国際連合に加わる 1964 オリンピック東京大会が開かれる ●このころから重化学工業がめざましく発達し、技術革新も進む	
	1970	1970 県総合グラウンド、県立博物館が完成する 1975 玄海原子力発電所が営業運転を始める 1976 第31回国民体育大会が行なわれる 1981 菜畑遺跡から縄文時代後期の炭化した米が見つかる	1972 沖縄が日本に復帰する 中華人民共和国と国交を正常化する 1978 日中平和友好条約をむすぶ	
平成	1980	1989 日本最大の環濠集落吉野ケ里遺跡が見つかる	1987 日本国有鉄道が民営化される	
	1990		1992 オリンピックバルセロナ大会が開かれる	